



村上 栄二が見据える 3つの未来

- 1：AI・IoT・5G を見据えた役所機能の新しい在り方（8月）
2：広島県が行う災害対応を知っていますか？（9月）
3：道路計画で見るパラダイムシフトの必要性（10月）

役所機能のあり方展望の背景

- ・一昔前の“お役所仕事”は**ほぼ存在しなくなる**が、高齢者増と共に公務員の仕事は増えていく。
- ・認知症、寝たきり高齢者が増え、役所の職員が**地域に向く体制づくり**が問われる。
- ・一方、役所の課長職以上に残業代がつかない状況からも**ブラック企業に陥りやすい職場**。
- ・様々な業務遂行に際しては**組織マネジメントと都市経営の方向性を一致させて**取り組むべき。

ICT (AI・IoT・5G) の進展で役所はどう変わるのか？

- ・AIを導入すべき業務は**役所内部の事業簡略化**であり、住民サービスは限りなく**今のスタイルを継続する**のが好ましい。
- ・事務作業で行うPC操作をソフトウェアでロボット化するRPA(Robotic Process Automation)が注目されている。これを導入することで作業時間の短縮や正確性の向上が見込め、働き方改革の一環となる。
- ・広島・岡山を跨ぐ6市2町の備後圏域連携協議会において、業務の効率化や生産性を高めることを目指し、RPA導入に向けた検討を始めた。**市町で共通のシステムを導入することで経費削減効果を高め、人材育成を連携して進める事を確認している。**
- ・RPAは総務省補助事業の採択を受け、一部の業務で導入。福山市は国民健康保険・介護保険・放課後児童クラブ業務への導入を予定。尾道市はふるさと納税と保育所の入所に関する業務データ自動入力を考えている。

公務員組織の思考転換：働き方改革のあり方

- ・前述のRPAやAIは、事務作業の時間短縮や正確性向上ならびに効率性やコスト削減などの効果が期待でき、働き方改革の本質に迫る取組みであるが、**現在の働き方改革は勤務時間・無駄を減らせの規制型**となっている。
- ・働き方改革は**一億総活躍社会を実現するための改革**であり、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自らが選択できるようにするための改革である。すなわち、仕事を減らすという取り組みではなく、**本質的な仕事のやり方そのものを変える必要がある。**
- ・かつて、職場にパソコンが導入されることにより仕事が減ると言われたが、実際には全く減っていない。今回の働き方改革により、ICT導入を事務作業の自動化などの**今の仕事の置き換えと考えるのではなく、ICTで働き方そのものを変える、と考えるべきである。**

今後の公務員・政治家のあり方

- ・公務員は仕事への取組姿勢を変えていく必要がある。市民相談では「出来ない理由を伝える」のではなくて「**どうしたらできるのか**」という創造的な思考を持って取り組まないとAIに仕事が奪われていく。
- ・政治家は公務員の**ネガティブチェッカー**という役割があるが、今後は**プラス思考で政策提案型の議員の存在が必要だ。**でなければ役所組織は改善されない。

Consort homes

〒720-0052 広島県福山市東町2-3-2

賃貸マンション、月極駐車場
「空き」あります！



お問合せ

☎ 084-927-1185
有限会社 DC 開発研究所

村上 栄二プロフィール



りじょう幼稚園、福山市立新開小学校、福山市立誠之中学校、私立近畿大学附属高等学校福山校、近畿大学法学部経営法学科を卒業。大学卒業後、有限会社DC開発研究所にて代表取締役のほか、大阪市議員（1期）を務める。2015年6月からは「地元へ恩返しをしたい」想いで福山に戻る。広島県会議員。